

○「委員が農事組合長らに熱心に訴え」

(京都府宮津市 宮津地区連絡会議)(平成31年度第3回)

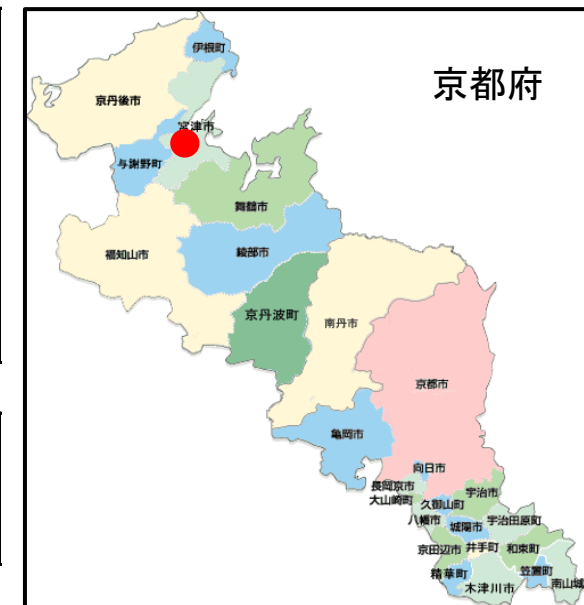
担い手への
農地利用の
集積・集約化遊休農地の
発生防止・
解消新規参入の
促進その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年8月19日(月) 19:00～21:30
- 場 所: 宮津市役所
- 出席者: 委員4人、推進委員1人
協力員8人、事務局2人
※委員5人、委員以外10人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

宮村;耕作面積14ha、緊急課題は1.4haの遊休農地の対応(山手は遊休農地拡大傾向、平場は家庭菜園希望者あり)
 辻町;耕地3.5ha 機械所有者2名 / 滝馬;耕地8.5ha 乾燥機9台 / 皆原;中山間直払の取組 50a遊休の恐れ
 山中;イノシシ被害大 まとめ役不在 / 波路;プラン作成済(新規就農) / 獅子崎・波路町;高齢化。波路が耕作



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 利用状況調査報告会
 - 皆原地区 ほ場条件が悪く中山間事業地区から外す農地あり(80a)
 - 辻町地区 宅地化。オリーブ植栽。課題は草刈りの未実施と農薬散布
- 活動目標の意見交換
 - 話し合い活動、遊休農地対策
- 今後の取り組み地区の確認
 - 辻町(10月)、滝馬・宮村地区(多面的事業終了地区)について

4 活動結果

- 情報・意見交換 **2.5** 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援